

会 議 録

会議名	第16回日野市地域公共交通会議	
日時	平成24年12月18日(火) 10:00から11:15まで	
会場	日野市役所本庁舎504会議室	
出席者	委員	別紙のとおり
	事務局	都市計画課 香川課長、浅川課長補佐、大野交通政策係長、伴登主事、前田主事
議題	<p>議事</p> <p>(1) ミニバス改善 (協議事項)</p> <p>(2) ワゴンタクシー見直し (協議事項)</p> <p>(3) 一般路線のバス停増設 (報告事項)</p>	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	0名	
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ (谷井会長)</p> <p>事務局より報告 委員の変更の報告 社団法人東京バス協会常務理事 二井田 春喜 様 (着任・欠席)</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) ミニバス改善 (協議事項) 事務局 (都市計画課 大野係長) から説明 (資料-1、別添資料-1・2)</p> <p><意見、質問等> 清水委員 平成23年度と平成24年度との輸送能力の差はあるのか。 ⇒三沢台路線について、平成23年度と比較して平成24年度は1往復と百草園住宅内発着の片方向運行の5便が増加している。(事務局回答)</p> <p>各年度の輸送能力当りの利用人員の推移を比較してはどうか。 ⇒運行距離に対しての利用人員比較など、詳細な分析を検討する。(事務局回答)</p> <p>事業が浸透してきているとすると、今後は大幅な伸びは考えられないのではないか。</p>		

⇒利用人員は、平成24年度については微増の状態となっているが、運行補助金を増額しないで工夫して良い手法を検討する。(事務局回答)

荻原委員

以前から、三沢台路線の利用者減が問題視されていた。その要因は確認できたのか。

⇒過去に自治会や利用者にヒアリングを実施したが決定的な要因は確認できていない。しかし、今年度から増便を実施し、てこ入れを行っているため今後の利用者数の推移を注視していく。(事務局回答)

現在の三沢台路線の利用者状況の推移はどうか。詳細な資料がないようならいずれ報告願いたい。

⇒追って報告する。(事務局回答)

<議決>

谷井会長

- ・ミニバス改善について異議ないか。
《異議なしの声》
- ・ミニバス改善について承認した。

(2) ワゴンタクシー見直し(協議事項)

事務局(都市計画課 大野係長)から説明(資料-2)

<意見、質問等>

清水委員

明星ルートについては、車両の大型化はバックアップでの対応が頻繁であり、利用者の不安感の解消のために実施したものである。しかし、供給量に対して利用者が伸びていない。

⇒車両大型化をベースに利用者増加を検討する。(事務局回答)

高森委員

本議事の協議事項は「4)経路変更(区画整理地区内)について」のみでよいか。
⇒そのとおり。(事務局回答)

荻原委員

日野市内は、鉄軌道駅も充実しており、バス路線についても同様と考える。ただし、現状では利用促進等についての対象が日野市内向けとなっている。観光資源などと併せて対外的にも発信してはどうか。

また、行財政改革などの観点もあり、公共交通を利用しない方から見ると費用対効果を求められる可能性もある。

産業分野と協力するなど、新たな視点を入れた検討をするべきではないか。

⇒先日、多摩モノレールと協力してウォーキングイベントを実施した。

そのような視点も含め、更には市の産業振興課などと連携した対外的なPR手法など、様々な視点で利用者増加に向けた検討をする。(事務局回答)

<議決>

谷井会長

- ・ワゴンタクシー見直しについて異議ないか。

《異議なしの声》

- ・ワゴンタクシー見直しについて承認した。ただし、明星ルートの利用者の動向に注意すること。

(3) 一般路線のバス停増設について(報告事項)

事務局(都市計画課 大野係長)から説明(資料-3)

<意見、質問等>

窪田委員

地域の公共交通として貢献したいと考えている。今後も可能な範囲ではあるが極力要望に対応していきたい。

谷井会長

全体をとおしてご意見・ご質問はないか。

生沼副会長

運行事業者である京王電鉄バス(株)様にはバス停増設など、南観光交通(株)様には車両の大型化やユニバーサルデザイン化など、市内公共交通の利便性向上にご尽力をいただき感謝いたします。

中澤委員

今後も利用者増加に努力していく。

(事務局)

今後としては、承認いただいた平成24年度事業計画について、調査・検討を進め、必要に応じて関係機関との調整を進める。

次回会議は3月を予定している。

5. 閉会